

平成 25 年度赤平市議会報告会における「市に対する意見・要望及び回答」

番号	意見・要望	回答
1	市営住宅の駐車場料金について、料金を下げる考えはないのか。また、減価償却の観点から年数に応じて減額等して欲しい。	駐車場使用料につきましては、平成 9 年に制定され、8 年間猶予されておりましたが、道営住宅や他市町村の対応、財政状況などを考慮し、平成 18 年度より徴収を始めたものであります。駐車場使用料は、自動車を保有する方が駐車場として整備された市営住宅敷地を占有することによる受益に対して、適正な負担をいただいているものであり、現状として減額する予定はありません。
2	病棟建替・消防庁舎建替・学校統廃合により多額の借金を抱え、今後、市民の負担となることが予想されるが大丈夫なのか。	3 つの施設の老朽化が著しいため、喫緊の課題となっております。最大限効果的な財源を活用して参ります。近年、様々な行財政改革を進めてきた経過の中で、3 事業を実施することにより、市民生活に直接的な影響を与えるような負担をお願いする予定はありません。
3	病院外来待合所で周囲に人がいる中で看護師から症状を尋ねられる。症状によっては周囲に聞かれたくないこともあり、プライバシーの配慮を心掛けてほしい。	症状をお聞きする予診室もないため、外来待合所にてお聞きする機会が多く、ご高齢で耳の遠い患者さんもおおり、大きな声でお聞きすることもあります。これからもできる限りプライバシーに配慮し、外来の窓口にご患者さんをお呼びして、症状などをお聞きするよう心がけて参ります。
4	会館の返還等、町内会が疲弊してきている。町内会運営が活性化するように助成等充実させて欲しい。	世帯数の減少等によって、町内会の運営が厳しい現状を踏まえ、平成 22 年度には防犯灯の LED 化による電気代の負担軽減、平成 23 年度から「地域コミュニティ活動推進事業補助金」の創設などを実施しています。今後、さらに町内会館等の施設運営が大きな課題となってくるため、人口規模に見合った施設配置を検討して参らなければなりません。

5	『市税条例の改正について』固定資産税の軽減をしたが、市民にいつ、どの程度の利益があるのか。	この度、財政が一定程度回復したことや他市町村の状況を勘案しまして、平成25年度からの固定資産税の税率を1.5%から1.45%に引き下げるものであり、平成25年5月10日に発送いたしました「平成25年度固定資産税の納税通知書」から適用され納税額が軽減されております。
6	『市営住宅条例の改正について』市民にメリットはあるのか。	市営住宅は困窮する低所得者に対して供給される住宅であり、一定以下の収入であることが入居者資格において大原則となっております。 今回の改正は、地域主権改革に伴い、入居収入基準を一部引き上げたことから、子育て世帯や若年世帯等の収入による入居の制限がこれまでより緩和されております。
7	赤平の子供の学力が低いと聞いているが、状況はどのようになっているのか。 また、今後、学力向上に向けどのように取り組んでいくのか。	学力・学習状況調査での結果については、文科省からの実施要綱において、序列化や過度の競争への懸念から市町村毎、学校毎の公表はしないこととなっております。都道府県別、管内別の結果は既に新聞などで公表されております。 赤平市では、調査の結果を踏まえ、子ども達の学力状況や生活状況を分析し、学力向上プランを策定して学校や家庭での取り組みなどを含め、市としての改善を行っております。
8	融雪溝の整備等、除雪問題について力を入れて欲しい。	一昨年より、狭幅員によりこれまで除雪を行っていなかった市道や市有公衆用道路についても、除雪を行うようになりました。また、高齢者等の住宅周辺に関しましては、現在も社会福祉協議会に委託し、一部除雪を行っておりますが、今後、住宅前の通路や門口等の除雪に関しましても、どのような手法で対応が可能か検討して参ります。

9	市営住宅料の滞納者が増加している。救済すべき滞納者もいると思うが、その対応は。	<p>住宅使用料につきましては、平成 23 年度決算の収納率は現年度 94.27%、過年度 35.67%であります。悪質滞納者に対する法的措置の実施等により、収納率は若干ではありますが年々向上している状況にあります。</p> <p>また、一方では、収入状況等により納付が難しい入居者に対して、条件により減免等の相談にも応じております。</p>
10	災害備蓄品の整備について予算計上されているようであるが、赤平市において災害とはどのようなものを想定しているのか。	<p>最も被害が大きい直下型の地震で、全半壊家屋被害が約 20%におよぶと想定し、個人による避難所への持ち込みも、その内 1/4 ぐらいと見込み、不足数を人口 12,000 人×20%×3/4=1,800 人分で、食料は 1 日 2 食で 3 日分、水は 1 日 3ℓで 3 日分と計算し、備蓄品を整備しております。</p>
11	土砂崩れの恐れのある箇所は対策を講じて欲しい。	<p>危険箇所につきましては、有害な地下水を効果的に排除する地すべり防止工事を北海道の方で施していただく等行っておりますが、まだ、危険区域内に入っている箇所もあり、避難する箇所の見直しなどを考えております。</p>
12	中心街に住居を集約するコンパクトまちづくりに取り組んでいる自治体もあるので、赤平市も参考にして欲しい。	<p>当市では、比較的、山間部へ住まれている方が少なく、公的住宅の集約化をはじめ、一定程度コンパクト化されていると認識しています。持ち家の方まで移転をお願いすることは現実的に不可能でありますし、極端なコンパクト化を進めることは地域の崩壊を招く恐れもあります。しかし、効果的なまちづくりの手法としては、他市の事例も十分参考にしていきたいと思っております。</p>
13	犬猫のフン害について、市では飼主のモラルの問題というが、市条例制定により規制強化を図って欲しい。	<p>基本的に飼い主のマナー、モラルの問題と考えております。条例については、実効性も含め課題等もあり、現下における対応に関しましては、出来る限りの状況に応じた対応や飼い主等に対するマナーの周知徹底を図って参ります。</p>

14	<p>生活保護受給者のパチンコ問題について、市民に通報を求める条例を制定した自治体もある。罰則を含めた条例制定を検討していただきたい。</p>	<p>兵庫県小野市の福祉給付制度適正化条例は、生活保護費等の不正受給の防止とギャンブルに浪費してしまい生活が成り立たなくなることを防ぐことを主な目的として、市民がそういう方を発見した場合、情報提供する責務があるとしておりますが、一方、日本弁護士連合会では「福祉制度が許容していないプライバシーの侵害に当たる」と条例の廃止を求める声明を発表しています。</p> <p>赤平市では、生活保護受給者の生活の状況、家庭訪問や遊技場の見回りなどを行い実態把握に努め、今後も生活保護法に基づき適正に指導指示を行って参ります。</p>
15	<p>電気料金の値上げが予想されるが、公共施設のLED化はどの程度進んでいるのか。</p> <p>ヒートポンプやソーラー発電の活用等、今後の省エネや電源の多様化の対応はどうなっているのか。</p>	<p>道路照明灯並びに公園灯を水銀灯からナトリウム灯やLEDなどに交換してきておりますが、この他、市役所庁舎や茂尻支所など一部LED化を進めているところであります。</p> <p>また、建替え予定の消防庁舎や病院病棟の建替えにつきましては、ヒートポンプの導入の計画をしており、その他の公共施設につきましても、ソーラーシステムの導入の可能性などを検討して参ります。</p>
16	<p>桜木山の手通改良舗装工事について、部分的な舗装ではなく、条件は悪いと思うが全面舗装をお願いしたい。</p>	<p>現計画では、舗装の老朽化が著しい道道取付からの直線部分の改良舗装を今年度で完了する予定であります。</p> <p>比較的路面状態が良好なその他の区間につきましては、全市的な整備計画の中で検討して参ります。</p>
17	<p>広報4月号において、TDKの加湿器回収の回覧チラシがあった。営利企業のチラシについて、市ではどのような取扱いになっているのか。</p>	<p>基本的には、営利企業に関する広告は市で取り扱わない方針です。今回指摘のあった広告につきましては、あくまでも事故の発生を未然に防ぐ、市民の安全を守るといった観点に基づき、総務省からの依頼を受けて、全国的に対応しております。</p>

18	<p>介護保険料が高い。制度は理解しているがもっと安くならないのか。</p>	<p>介護保険については、人口の減少と共に被保険者が減少する中、高齢化によって介護認定者が増加し、給付費も大幅に増加しております。介護給付費準備基金及び安定化基金を取崩して負担軽減を図っておりますが、大幅な上昇を抑えることはできない状況にあります。また、保険料軽減の財源として一般会計から繰入れすることを国は認めておりません。</p> <p>介護給付費を減少させることが保険料の上昇を抑える大きな要因になることから、引き続き介護予防に力を注いで参ります。</p>
19	<p>病棟建替は大変ありがたいが、医師確保についても一層努力していただきたい。</p> <p>また、患者と医師、看護師の信頼関係が築ける病院運営をお願いしたい。</p>	<p>医師確保は病院存続のためにも最優先の課題として、現在在籍している医師の確保と、様々な情報とネットワークを活用し新たな医師の確保に努めて参ります。</p> <p>また、患者さんに対する声掛けなど、コミュニケーションを大切にしながら、医療従事者としての役割や患者さんの立場に立った医療を進め、信頼され選ばれる病院となるよう心掛けて参ります。</p>
20	<p>高齢化対策について、独居高齢者の状況や施設整備等、十分検討して欲しい。</p>	<p>赤平市は高齢者のみの世帯及び独居高齢者が多い地域となっており、独居高齢者等の安心・安全には、地域住民による見守りが最も効果があるが、今年度からモバイル型緊急通報システムを新たに導入し、高齢者の見守りの一助として活用して参ります。</p> <p>また、元気な高齢者を育てていくと共に、介護を必要とする高齢者には、ニーズに合った在宅介護サービスの提供が可能となるよう事業者の育成を進めて参ります。</p> <p>なお、介護施設の増設は、介護保険料が上昇する大きな要因となることから、保険料とバランスが保てる範囲で施設整備を進めることも重要であると認識しております。</p>

21	<p>病棟建替について、30年償還を期間短縮して返済しようとしているが、人口減少や他市への通院等を勘案すると確実に返済できるのか心配であるが大丈夫なのか。</p>	<p>病棟建替の事業費を盛り込んだ収支計画作成の際、今後の人口推移や現実的な収益を想定し償還計画を立てております。計画との乖離が発生しないよう、医師を中心とした体制の確保と収支のバランスを維持しながら、安定した病院経営に努めて参ります。</p>
22	<p>病棟建替については期待しているが、いつ、どこにどのような建物、病室になるのかわからない。具体的な説明をしていただきたい。</p>	<p>新病棟は既存の病院敷地内に3階建ての建物を予定し、1階に救急・リハビリ室・給食など、2階に一般病床60床、3階に療養病床60床を予定しております。今後も広報などを通して随時ご報告させていただきます。</p>
23	<p>住宅マスタープランとは何か。 また、住友地区の住宅マスタープランについて、シルバーハウジングの増設等、どのように考えているか。</p>	<p>住宅マスタープランとは、住宅政策上の課題整理を行い、住宅対策の具体的方向及び展開方針等を示す総合的な計画です。現計画策定時とは、状況も変化していることから、計画内容の見直しも必要と考えており、平成26年度の住生活基本計画策定時に、今後の高齢者対策について、福祉部局等とも協議の上、シルバーハウジング等の整備の必要性についても検討して参ります。</p>
24	<p>住友地区の建替が進むが、独居高齢者が増加する中で、今後、大きな建物、部屋は必要ない。シルバーハウジングのような高齢者に配慮したコンパクトな住宅建設を希望する。</p>	<p>事業の進捗、情勢の変化、移転対象者の減少などから、現計画内容の検討も必要と考えており、平成26年度の住生活基本計画策定時に、今後の福栄地区建替事業についても検討して参ります。</p>

25	<p>赤歌警察署より住友共同浴場前の信号機を撤去すると連絡があった。子どもは少なくなったが、高齢者には必要なので撤去を撤回するよう要請して欲しい。</p>	<p>信号機や規制標識に関しましては、公安委員会の所管となります。今回の件につきましては、既に赤歌署に対し地域の皆さんと十分協議の上で対応されるよう申し入れております。今後も安全確保の要請を行って参ります。</p>
26	<p>福栄8号棟前に十字路ができ、赤歌警察署に一時停止標識の設置を要請したが、見通しが良いとのことで断られた。事故が起こる前に対策を講じて欲しい。</p>	<p>当局の規定に達しないということですので、標識の設置は難しいと思います。地域の皆様には交通安全の確保をお願いいたします。なお、対策についてのご意向ご要望は随時、警察当局や道路管理者に伝えて参ります。</p>
27	<p>市立病院の3階に入院している患者が5階に移るケースが多々あるが、どのような基準で移っているのか。</p>	<p>急性期の治療が必要期間終わり、医療行為より看護ケアが重点となる患者さんが5階の療養病棟へ移られております。今後も病状の回復等により、一般病床（3階）から療養病床（5階）に患者さんが移るケースはありますが、その都度、医師、看護師からご家族等への説明もしっかりと行いながら進めて参ります。</p>
28	<p>来年、平岸小学校、住友赤平小学校が茂尻小学校と統合になる。統合先の茂尻小学校について、大規模改修が予定されているが、駐車場の整備、プール除却、トイレの洋式化は含まれているのか。 また、学校出入口、校舎周辺、グラウンドまでの経路等の環境整備をして欲しい。</p>	<p>統合後の使用校舎である茂尻小学校は、今年度大規模改修を予定しており、陸屋根や壁面、給排水設備、トイレ洋式化、暖房設備などの改修を行います。 学校前の校庭については、スクールバス乗り入れのためにプールを除却して、そのスペースを確保して参りますが、グラウンドまでの経路等については予定しておりません。</p>

29	<p>人口減少が加速し、空き家が目立つようになってきた。インフラ整備を進め、住みよいまちづくりを期待したい。</p>	<p>人口減少対策は、当市にとって最も重要な課題です。現在、産業振興・少子化対策・住環境整備の3つの重点プロジェクトチームを設置し、これらを中心に第5次赤平市総合計画の後期実施計画の策定に向け、施策の検討を進めております。</p>
30	<p>平岸東町会館から30線入口までの歩道の延長整備を再度お願いしたい。(3件の事故あり)</p> <p>路側帯に雪が積上がり歩行できる状態ではない。東町会館から芦別方面に向かう時、特に冬期間は雪の壁があり非常に危険。バス停留所の待避所がなく危険。</p>	<p>国道の歩道整備に関しては、以前より地域から整備要望があり、北海道開発局札幌開発建設部に対し、これまで幾度も要望しており、昨年も整備について協議しておりますが、道内で同様な箇所は多く、片側に歩道が整備されている現況から整備は難しいとの回答でありました。</p> <p>今後も引き続き、整備の可能性について協議して参ります。また、除雪関係につきましても要請をして参ります。</p>
31	<p>病棟建替について、過去の管理棟建替で予定の予算から増額補正予算で費用が増加し、後の不良債務になったと聞いている。18億5千万円と言っているが、費用が膨らむことはないのか。</p>	<p>一部報道にもあるように、東日本大震災の復興特需や経済情勢などの変化も影響して、建設コストが高騰していますが、将来に不良債務を発生させないよう、安定した病院経営の継続を優先に病棟建替の計画を進めて参ります。</p>
32	<p>消防庁舎建替について、建替の時期と予算規模はどのように考えているのか。</p>	<p>消防庁舎は、築50年以上が経過し老朽化が激しいことから現在、建替えに向けて準備を進めております。</p> <p>建替え時期につきましては、平成26年9月に着工し冬期間は一時工事を休止したのち、翌年3月から工事を再開して平成27年中の完成を予定しております。</p> <p>また、予算規模につきましては、平成24年度に実施した基本設計では約6億4千万円の概算工事費が算出されたところですが、本年度行います実施設計におきまして、さらに詳細な工事費が算出されることとなります。</p>

33	<p>平岸中学校閉校後、草刈りもせず環境が悪い。平岸中学校や来年閉校の平岸小学校を今後どのように利用等考えているのか。</p>	<p>平岸中学校跡地の校舎周辺の草刈りについては、職員により年1~2回行っておりますが、グラウンドまではできていない状況です。校舎が古く耐震性も満たしておらず、土地を含めた売却を検討しております。また、平岸小学校については、平岸地区に規模の大きい施設が存在しなくなるため、災害時の避難施設として存続すべきと判断しています。今後の活用方法については、地域の皆様とも協議させていただきます。</p>
34	<p>平岸の28線、U字溝が小さく公園辺りが水で溢れてしまうため対策をお願いしたい。</p>	<p>現地を確認の上、対応等を検討して参ります。</p>
35	<p>平岸地区の山側は悪い道が多いため整備して欲しい。</p>	<p>舗装等の整備は難しい状況にありますが、砂利敷き等による路面補修は引き続き実施して参ります。</p>
36	<p>平岸小学校、住友赤平小学校閉校後、茂尻小学校への通学バスはどのように考えているのか。停留所等、具体的に決まっているのか。</p>	<p>通学には市でスクールバスを運行して参ります。停留所の場所等については、積雪期を含めて安全に乗降できることが条件となりますので、統合準備委員会において現在検討しているところであります。</p>